

# 7月の果実の見通し

品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
おうとう	439	やや 多い	479	1,196	101%	1,476	294	67.0%	6月下旬から山形県産「佐藤錦」がピークになり、続いて秋田県産、北海道産が随時入荷する。今年は全体に花の開花も遅く生育も遅れたため7月上旬の出回り量がここ数年と比べれば多くなり、また梅雨時期にもあたるためどれだけ良いものを出荷できるかが鍵になる。
もも	6,504	やや 少ない	6,280	558	99%	513	11	0.2%	山梨の桃は生育遅れによって出荷が遅くなり、干ばつの影響より肥大状況はよくない、和歌山は生育が順調なもの小玉傾向である、福島は生育順調で肥大も良く若干大きいが出回りは遅い、全体を見て7月の販売は生育遅れで出荷は少なく小玉傾向で出荷数量は伸びない。
ぶどう類	1,358	前年並	1,366	1,189	96%	1,043	645	47.5%	デラウェアは島根県産が6月中旬以降から7月上旬にかけピークに、山形県産は6月下旬から出荷始まるが昨年に比べ7日遅れ、山梨県産は連休明けから露地ものが始まる。大房系の巨峰は山梨県産、長野県産が主体となって出荷される。ピオーネにおいては岡山県産が中心の動きを見せる。シャインマスカットは各県昨年より多くなる、ナガノパープルは7月下旬から安定した出荷に、石川県産のルビーロマンは7月末からの販売に。
すいか類	12,453	少ない	14,117	194	103%	161	2,950	23.7%	6月は熊本県産から千葉県産、鳥取県産へと産地が移り変わったが生育は順調で7月を向かえる。新潟県産も6月からピークに入り、千葉県産は上旬がピークで黒皮すいかと併用販売に鳥取県産はトンネルものがピークにその後長野県産、山形県産と始まる。ちなみに関東県産、神奈川産が7月の中旬からになる。
メロン類	3,739	やや 少ない	4,471	432	101%	369	1,160	31.0%	5月からの好天でメロン類全体に食味良く仕上がっていたが、干ばつ気味で小玉比率が高くなったこともあって入荷量は伸び悩んだ。7月になればこれまでの関東産に加えて東北・北海道産も出回るが、いずれも生育は順調だが前年に比べて出回り時期としては遅くなりそう。北海道産の赤肉系などはギフト向けとしても年々需要が高まってきており、メロン全体でもシーズン後半を迎えてしっかりとした価格で推移しよう。